

## 平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

### 【中学校国語】

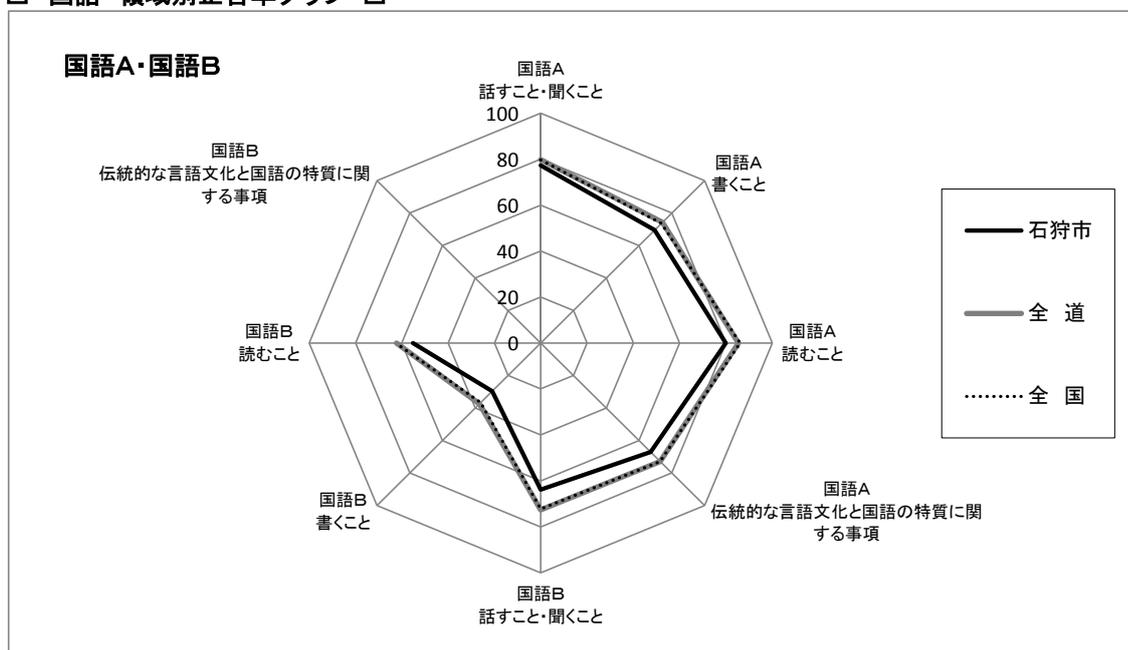
#### □ 正答率の状況 □

	国語A(主として「知識」に関する問題)		国語B(主として「活用」に関する問題)	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	25.0問/33問	75.8%	5.9問/ 9問	65.8%
全道(公立)	25.0問/33問	75.8%	5.9問/ 9問	65.7%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い	
	石狩市 : ○ 全国 : ☆					☆				○									

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様 … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様 … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

#### □ 国語 領域別正答率グラフ □



#### □ 国語科の概要 □

- 相手の反応を踏まえて話し方を工夫する力は、ほぼ定着しています。
- 漢字の読みについては、定着が見られます。
- 適切な表現を選択したり、効果的な文章を書くことが課題です。
- 漢字を正しく書いたり、適切な品詞の選択が課題です。
- 適切な情報を選択して、それを根拠に自らの考えを書くことが課題であり、無回答率も高くなっています。

## 国語 A (主として「知識」に関する問題)

基礎的・基本的な知識・技術が身に付いているかどうかをみる、以下に示す内容の問題で構成されています。

- ・スピーチの途中で聞き手の反応を見て、とった対応として適切なものを選択する。
- ・意見文に対して出された指摘の理由として適切なものを選択する。
- ・「なぜ、排水管はS字形になっているのか。」という問いに対する答えとして、適切なものを選択する。
- ・漫画の言葉に対応する部分として適切なものを、古典の文章の中から選択する。
- ・設問数は33問です。

### 【各領域の傾向】

- ・「話すこと・聞くこと」の領域は全道・全国より低い傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は全道・全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「読むこと」の領域は全道・全国より低い傾向を示しています。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関しては、全道・全国より低く、漢字は読めても書けない傾向が見られます。

### 【成果の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
話すこと 聞くこと	1 一 相手の反応を踏まえて話す	スピーチの途中で聞き手の反応を見て、とった対応として適切なものを選択	<b>92.8%</b>	93.2%	93.0%
書くこと	2 一 意見を支える根拠の明確さについて助言する	意見文に対して出された指摘の理由として、適切なものを選択	<b>76.7%</b>	79.4%	79.8%
読むこと	5 一 文章から適切な情報を得て、考えをまとめる	「なぜ、排水管はS字形になっているのか」という問いに対する答えとして適切なものを選択	<b>89.6%</b>	93.1%	93.6%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9 一 漢字を読む	詳細(シヨウサイ)に述べる	<b>80.9%</b>	80.3%	78.2%
	9 五 毛筆を用いて、楷書で字を書く	運筆の際の説明に対応する部分として適切なものを選択	<b>84.4%</b>	84.4%	85.9%

### 【課題の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
話すこと 聞くこと	1 二 聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話す	「成否」を分かりやすい表現に直す	<b>61.3%</b>	65.3%	65.0%
書くこと	4 一 伝えたい事実を明確に書く	棒グラフの網掛け部の変化の内容を適切書く	<b>58.7%</b>	66.5%	67.6%
読むこと	6 二 表現の特徴を捉える	文章の説明で、適切なものを選択	<b>79.8%</b>	86.6%	87.1%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9 一 文脈に即して漢字を正しく書く	アマ(余)ったお金を貯金する	<b>54.1%</b>	67.4%	70.9%
	9 四 ② 単語の類別について理解する	「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択	<b>48.1%</b>	58.8%	62.3%

### 〈指導の改善にあたって〉

- ・聞いただけでは意味が分かりにくい言葉や日常生活で使うことが少ない言葉などについては、聞き手の反応を踏まえて分かりやすい言葉に換えたり、説明を加えたりするような指導が必要があります。
- ・読み取った情報が正しいかどうかを確かめ、読み手に正確に伝わる言葉を選択して記述する指導をする必要があります。
- ・説明的な文章を読む際には、文章の構成や展開、表現の特徴を捉え、その工夫や効果のついて自分の考えを持たせるよう指導する必要があります。
- ・単語を正しく類別するには、文法的な知識に加え具体的な文章を通して考えさせる指導をする必要があります。

## 国語 B (主として「活用」に関する問題)

<p>基礎的・基本的な知識・技術を活用できるかどうかをみる、以下に示す内容の問題で構成されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く。</li> <li>・資料を参考にして未来の日本の社会を予想し、その会社にどのように関わっていきたいかを自分の考えを書く。</li> <li>・文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く。</li> <li>・設問数は9問です。</li> </ul>
--

### 【各領域の傾向】

- ・出題された全ての領域（三領域）で、全道・全国より相当低く、課題があります。

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
話すこと 聞くこと	1 2 聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話す	「成否」を分かりやすい表現に直す	61.3%	65.3%	65.0%

### 【課題の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
話すこと 聞くこと	1 2 効果的な資料を作成し、活用して話す	フリップを作成する際に取り入れたポイントとして適切なものを選択する	79.1%	87.7%	87.3%
書くこと	1 3 資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く	演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く	44.1%	55.8%	56.2%
読むこと	2 1 目的に応じて文章を要約する	ウェブページの文章の内容について述べた文の空欄にあてはまる言葉として適切なものを選択する	72.2%	80.9%	82.6%

### 〈指導の改善にあたって〉

<ul style="list-style-type: none"> <li>・より分かりやすく伝える資料を作成する際は、提示する意図を明確にし、その効果を考えながら作成するよう指導する必要があります。</li> <li>・どのような資料を、どのタイミングで提示するのか、事前に使用する目的などを確認して考え、発表後に、その効果を確かめる活動をするよう指導する必要があります。</li> <li>・説明的な文章の要旨を捉える際には、キーワードなどに着目させながら文章を読ませ、段落相互の関係や文章の構成を確認させる指導が必要です。</li> </ul>
--

### 教科に関する意識 (質問紙の傾向)

- ・「国語の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の 64.2%、全国の 60.5%に対して石狩市は58.5%で、全道に比べ 5.7ポイント、全国に比べて2.0ポイント低くなっています。
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の 89.3%、全国の89.9%に対して石狩市は 85.4%で、全道に比べ3.9ポイント、全国に比べ4.5ポイント低くなっています。
- ・「国語の授業内容はよく分かりますか」に対する肯定的な回答は、全道の 76.4%、全国の 74.3% に対して石狩市は 67.5%と、全道に比べ 8.9ポイント、全国に比べ 6.8ポイント低くなっています。
- ・「読書は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の 71.7%、全国の 67.9% に対して石狩市は68.6%で、全道に比べ 3.1ポイント低く、全国に比べ0.7ポイント高くなっています。

・国語の授業中の質問に関して、「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしていますか」「意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか」「自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか」「文章を読むとき、段落や話のまとめごと内容に理解しながら読んでいますか」の各設問の肯定的な回答率は、いずれも、全道・全国より低くなっています。

平成27年度 全国学力学習状況調査 結果分析

【中学校数学】

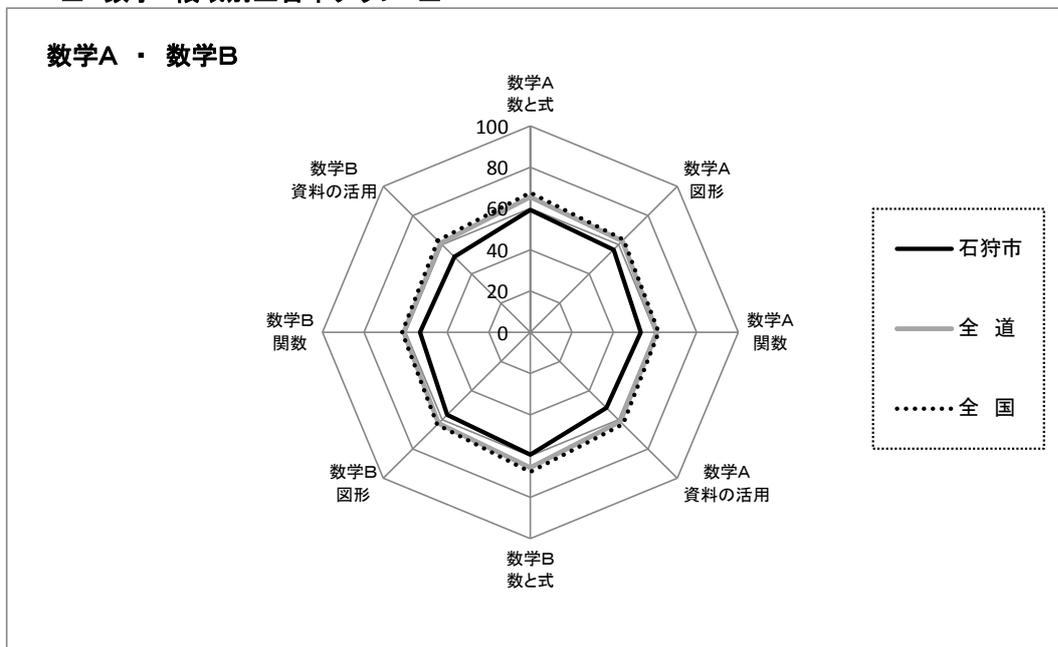
□ 正答率の状況 □

	数学A(主として「知識」に関する問題)		数学B(主として「活用」に関する問題)	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	23.2問/36問	64.4%	6.2問/15問	41.6%
全道(公立)	22.7問/36問	63.0%	6.0問/15問	39.7%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様 (上位)	同様	ほぼ同様 (下位)	やや低い	低い	相当低い	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様 (上位)	同様	ほぼ同様 (下位)	やや低い	低い	相当低い	
	石狩市 : ○ 全国 : ☆				☆				○					☆					

相当高い	… 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様	… -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い	… 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い	… -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い	… 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い	… -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様	… 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い	… -7ポイント以下の範囲
同様	… ±1ポイント未満の範囲内		

□ 数学 領域別正答率グラフ □



□ 数学科の概要 □

- 記号で表された図形の構成要素間の関係を読み取ることについては、改善が見られます。
- 確率の意味を理解することに、課題があります。
- 引き続き無回答の割合が高く、課題が継続しています。
- [数学]に対する生徒の意識の中で、肯定的な回答が昨年度を下回り、日常の指導の改善が求められます。

## 数学 A (主として「知識」に関する問題)

<p>基礎的・基本的な知識・技能が身につけているかどうかをみる、次に示す問題で構成されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正の数と負の数とその計算，文字式の計算をする。</li> <li>・一元一次方程式，連立二元一次方程式を解く。</li> <li>・平行移動した図をかく。</li> <li>・反比例のグラフや2つの数量の関係のグラフの読み取り。</li> <li>・確率の意味を理解している。</li> <li>・設問数は36問です。</li> </ul>
---

### 【各領域の傾向】

- ・「数と式」の領域は，全道より低く，全国より相当低く課題があります。
- ・「図形」の領域は，全道・全国より低い傾向を示しています。
- ・「関数」の領域は，全道・全国より相当低く課題があります。
- ・「資料の活用」の領域は，全道・全国より相当低く課題があります。

### 【成果の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
図形	4 (1) 垂線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解している	垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	56.1%	57.8%	59.1%

### 【課題の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
数と式	2 (3) 等式を目的に応じて変形することができる	等式 $2x - y = 5$ を $y$ について解く	48.7%	60.1%	64.2%
	3 (2) 小数を含む一元一次方程式を解くことができる	一元一次方程式 $1.2x - 6 = 0.5x + 1$ を解く	61.1%	72.2%	73.8%
図形	7 (3) 平行四辺形になるための条件を理解している	与えられた方法で作図された四角形が，いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	36.3%	47.0%	48.1%
関数	10 (2) 与えられた比例の式について，そのグラフ上の点の $x$ 座標を基に， $y$ 座標を求めることができる	比例 $y = 2x$ のグラフ上の点Aの $x$ 座標が3のときの $y$ を座標を求める	51.3%	62.1%	64.9%
資料の活用	15 (2) 多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している	さいころを投げるときの確立について正しい記述を選ぶ	38.0%	52.6%	55.4%

### 【無答率の高い設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市		全道		全国	
			正答率	無答率	正答率	無答率	正答率	無答率
関数	10 (3) 与えられた比例のグラフから， $x$ の変域に対応する $y$ の変域を求めることができる	比例のグラフから， $x$ の変域に対応する $y$ の変域を求める	35.0%	34.1%	48.5%	19.1%	49.3%	17.2%

### (指導の改善にあたって)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・等式の変形については，特定の文字について解くことの意味を理解しながら確実に処理できるよう指導する必要があります。</li> <li>・一次方程式を解く際に，方程式を解く過程を振り返ったり，その結果を確かめたりする活動を通して，正しく解を求めることができるよう指導する必要があります。</li> <li>・グラフの式を満たす値の組を求める活動を取り入れ，グラフ上の点の座標を求めることができるよう指導する必要があります。</li> <li>・ある試行を多数回繰り返したとき，ある事柄の起こる回数の割合が一定の値に近づくことを，観察や実験などを通して捉える活動を取り入れ，確率の意味を実感をもって理解できるよう指導する必要があります。</li> </ul>
--

## 数学 B（主として「活用」に関する問題）

基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかみる、次に示す問題で構成されています。

- ・数量関係を表す式を用いて、投影画面の大きさの適切な変え方を指摘し、その理由を説明する。
- ・連続する5つの整数の和について、予想した事柄を説明する。
- ・目的に応じたポップアップカードを作るための山折の端点の位置を決める方法を説明する。
- ・グラフの形に着目し、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する。
- ・設問数は15問です。

### 【各領域の傾向】

- ・「数と式」「図形」「資料の活用」の領域では、全道・全国より相当低く課題があります。
- ・「関数」の領域では、全道・全国より低い傾向を示しています。
- ・無答率が高い傾向が続いていることも、課題といえます。

### 【成果の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
関数	1 (2) 処理した情報の結果を、事象に即して解釈できる	投影画面がスクリーンに収まり、できるだけ大きく映し出すことができる投影距離を選ぶ	39.4%	35.8%	35.1%

### 【課題の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
数と式	2 (3) 予想した事柄の説明ができる	連続する5つの整数の和について成り立つ事柄を表現する	47.9%	60.5%	63.8%
図形	4 (2) 条件を変えた場合の証明ができる	正方形を平行四辺形に変えても、対応する辺が等しくなることの証明	34.9%	46.3%	49.6%

### 【無答率の高い設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市		全道		全国	
			正答率	無答率	正答率	無答率	正答率	無答率
図形	3 (2) 問題解決の方法を図形の性質を用いて説明できる	四角形EFGHがいつでも平行四辺形になるように、点Fの位置を決める方法を説明	12.9%	69.5%	19.2%	54.7%	21.2%	48.2%

### 〈指導の改善にあたって〉

- ・問題の条件を変えて見出した事柄について、その前提と結論の両方を明確にして表現できるよう指導する必要があります。
- ・証明を読み、結論を導くために欠かせない条件や性質を捉える場面を設定し、問題の条件を変えて、発展的に考えることができるよう指導する必要があります。

### 教科に関する意識（質問紙の傾向）

- ・「数学の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の53.8%、全国の56.0%に対して石狩市は、47.4%で全道より6.4ポイント、全国より8.6ポイント低くなっています。
- ・「数学の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の80.8%、全国の82.6%に対して石狩市は74.9%で、全道より5.9ポイント、全国より7.7ポイント低くなっています。
- ・「数学の授業内容はよく分かりますか」に対する肯定的な回答は、全道の70.0%、全国の71.6%に対して石狩市は64.0%と、全道より6.0ポイント、全国より7.6ポイント低くなっています。
- ・「数学ができるようになりたいと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の90.8%、全国の91.5%に対して石狩市は85.8%で、全道より5.0ポイント、全国より5.7ポイント低くなっています。
- ・「問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の肯定的な回答は、それらの全ての質問事項において、全道・全国より下回っています。

## 平成27年度 全国学力学習状況調査 結果分析

### 【中学校理科】

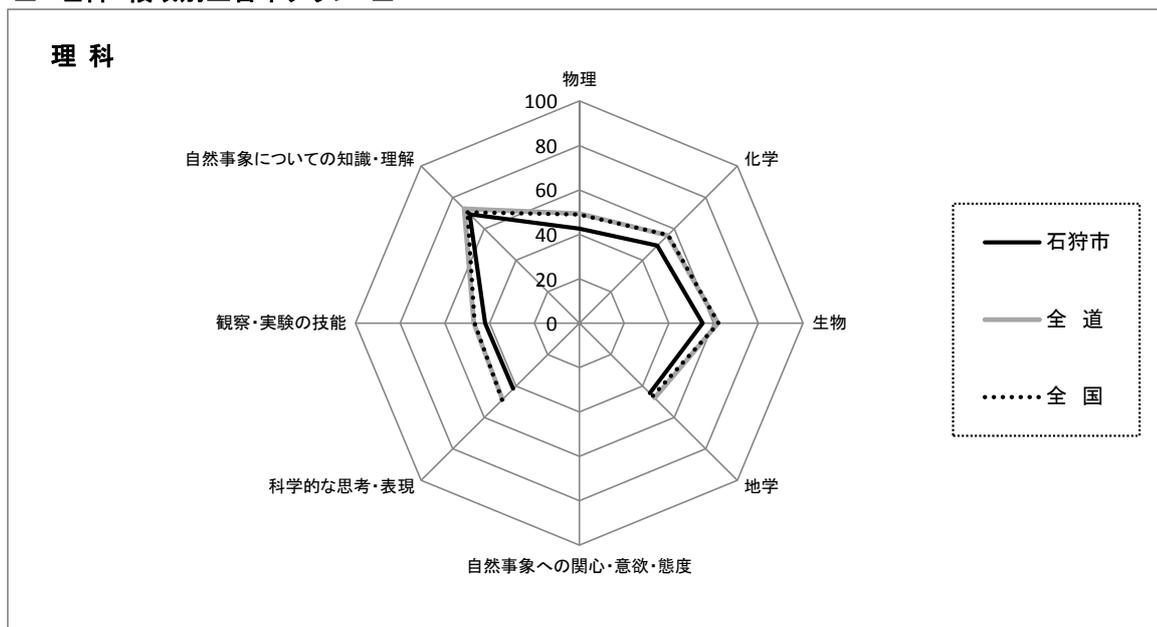
#### □ 正答率の状況 □

	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	13.3問/25問	53.0%
全道(公立)	13.3問/25問	53.3%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上)	同様	ほぼ同様(下)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○					★				○
全国 : ☆									

相当高い … 7ポイント以上の範囲  
 高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内  
 やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内  
 ほぼ同様 … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内  
 同様 … ±1ポイント未満の範囲内  
 ほぼ同様 … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内  
 やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内  
 低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内  
 相当低い … -7ポイント以下の範囲

#### □ 理科 領域別正答率グラフ □



#### □ 理科の概要 □

- 物質を化学式で表すことは、ほぼ定着しています。
- 気圧の変化をモデルを使った実験と関連させて考えることができます。
- 実験を計画すること、課題に正対した考察を持つことには、課題があります。
- 電磁誘導に関する科学的概念を使って説明することに課題があります。

#### 理科

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用ができるかをみる、以下の問題で構成されています。
- ・ オームの法則、脊椎動物の名称、水溶液の濃度、天気図の読み取りなどの基礎的知識に関すること。
  - ・ 誘導電流の発生する実験における、科学用語を使った説明。
  - ・ 化学変化に関する実験結果の分析。
  - ・ 上空と地上の気温差による降水量の違いを調べる実験の計画。
  - ・ 消化に関すること、水温と魚の呼吸に関する実験からの考察を検討し改善する。
  - ・ 問題数は、25問です。

### 【各領域の傾向】

- ・「物理的領域」「化学的領域」は、全道・全国より低い傾向を示しています。
- ・「生物的領域」は、全道・全国より相当低く課題があります。
- ・「地学的領域」は、全道よりやや低く、全国とほぼ同様（下位）の傾向を示しています。

### 【成果の見られる設問例】

領域	出題の趣旨		設 問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
化学	1 (1)	化学式で表す	塩化ナトリウムの化学式を選ぶ	<b>80.1%</b>	80.3%	79.6%
生物	7 (1)	消化酵素によってできる物質	消化酵素によって、デンプンが最終的に分解された物質の名称を選ぶ	<b>74.4%</b>	75.3%	72.2%

### 【課題の見られる設問例】

領域	出題の趣旨		設 問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
物理	5 (1)	オームの法則から、抵抗の値を求める	抵抗に加わる電圧と流れる電流から、抵抗の大きさを計算して求める	<b>51.0%</b>	61.6%	59.6%
化学	1 (3)	水上置換法を使えない理由	水上置換法では、二酸化炭素の体積を正確に量れない理由を説明する	<b>42.2%</b>	54.5%	53.0%
生物	7 (3)	見出した問題を基に、適切な課題を設定	キウイフルーツの上に置いたゼリーの崩れ方に違いが見られたという新たな疑問から、適切な課題を記述する	<b>43.8%</b>	55.3%	57.3%

### 【無答率の高い設問例】

領域	出題の趣旨	設 問	石狩市		全 道		全 国	
			正答率	無答率	正答率	無答率	正答率	無答率
物理	5 (2)	スイッチを入り切りによる磁界の変化を説明	44.6%	45.7%	54.3%	33.2%	56.8%	30.7%

### 〈指導の改善にあたって〉

- ・抵抗の計算は、単に「オームの法則」の公式に当てはめるのではなく、電圧と電流のグラフから考えさせる指導が必要です。
- ・気体の特性に応じた捕集法を指導する必要があります。
- ・自然の事物・現象から問題を見出し、適切に課題づくりができるよう指導する必要があります。

### 教科に関する意識（質問紙の傾向）

・「理科の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の66.4%、全国の61.9%に対して石狩市は71.2%で全道より4.8ポイント、全国より9.3ポイント高くなっています。

「観察や実験を行うことは好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の82.9%、全国の80.1%に対して石狩市83.2%で全道より0.9ポイント、全国より3.1ポイント高くなっています。

・「理科の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の70.0%、全国の69.3%に対して石狩市は69.2%で全道より0.8ポイント、全国より0.1ポイント低くなっています。

・「理科の授業の内容はよくわかりますか」に対する肯定的な回答は、全道69.9%、全国の66.8%に対して石狩市は70.4%で全道より0.5ポイント、全国より3.6ポイント高くなっています。

・「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか」に対する肯定的な回答は、全道の74.8%、全国の75.5%に対して石狩市は69.8%で、全道より5.0ポイント、全国より5.7ポイント低くなっています。